

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2018年1月）

2018年の出足は不調。国内販売の減少に歯止めがかからず、輸出も減速。メキシコへの積極投資は打ち出しづらい。

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 1月メキシコ自動車生産台数（季調値）は大きく減少。国内販売と輸出が共に失速したことが背景。
- 米国新車市場の減速が続いており、メキシコ産輸出車両への下押し圧力は収まることはない。
- 米国法人減税によりメキシコへの投資妙味減退。NAFTA再交渉が不透明で、大統領選の動向も気掛かり。

メキシコ自動車産業を取り巻く環境は混々としている

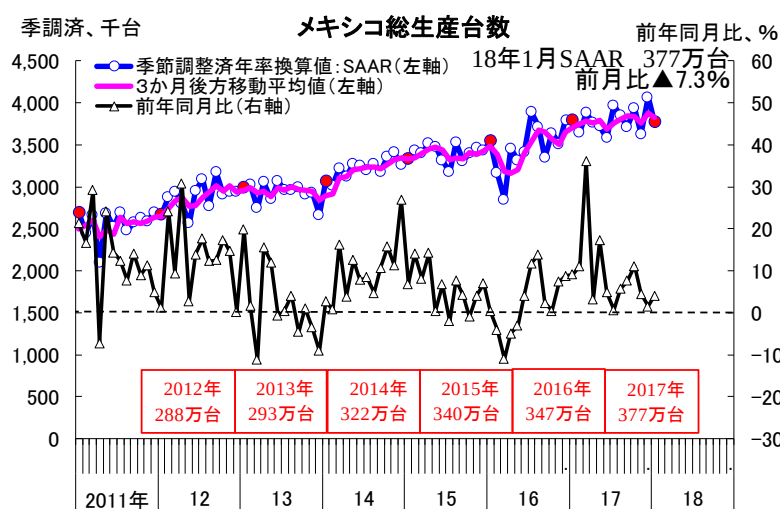
メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz: AMIA）が発表した2018年1月の総生産台数は、前年同月比4.1%増と20か月連続で前年超えしたが、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比7.3%減の377万台と減少した（図表1）。国内販売と輸出台数のSAARがともに減少したことが減産の背景にある。

1月の総輸出台数は前年同月比9.2%増となったが、輸出台数のSAARは前月比9.4%減の324万台と大きく減少した（図表2）。主要輸出先である米国の1月新車販売台数（SAAR）は前月比2.1%増の1,784万台（弊社試算）と4か月ぶりに増加したが、3か月後方移動平均値でみたトレンドは下向いている（図表3）。米国では販売奨励金が高水準で推移し、依然として新車需要に強い脆弱性があることもあり、今後も引き続き、米国新車販売の減速がメキシコ産輸出車両への逆風となろう。

メキシコの国内新車販売は減少基調に歯止めがかからない状況である。1月の総販売台数は前年同月比11.5%減と8か月連続で前年割れし、SAARも前月比9.2%減の131万台と大きく減少した。3か月後方移動平均値でみるトレンドは下降トレンドが続いている（図表4）。

18年のメキシコ自動車市場を取り巻く環境は楽観できない。国内販売の減退や、米国新車市場の縮小がメキシコ産車両の輸出の足かせとなる。NAFTA再交渉の行方が不透明であることや、米国の法人減税を盛り込んだ税制改革の実施は、メキシコビジネスの投資妙味を大きく削ぐことに繋がる。本年7月にはメキシコ大統領選も控えており、18年のメキシコ自動車市場は多くのリスク要因に晒される神経質な展開が続こう。当面、自動車関連企業がメキシコ投資に積極的になることは難しいと考える。

図表1 1月生産台数（SAAR）は大きく減少

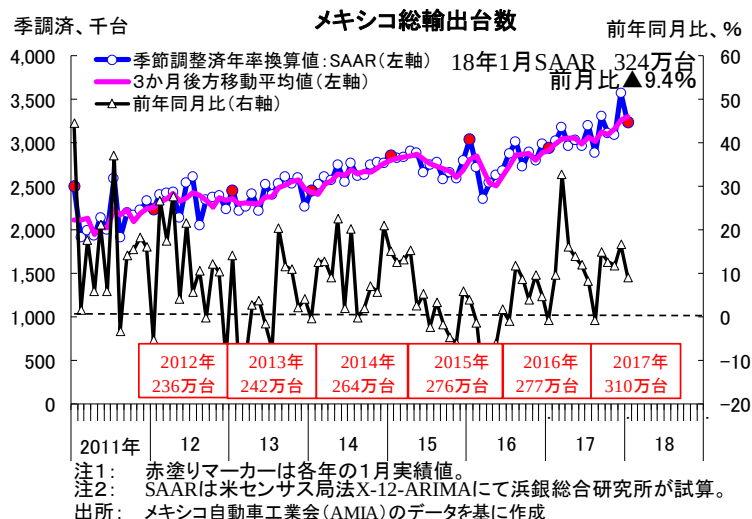


注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。

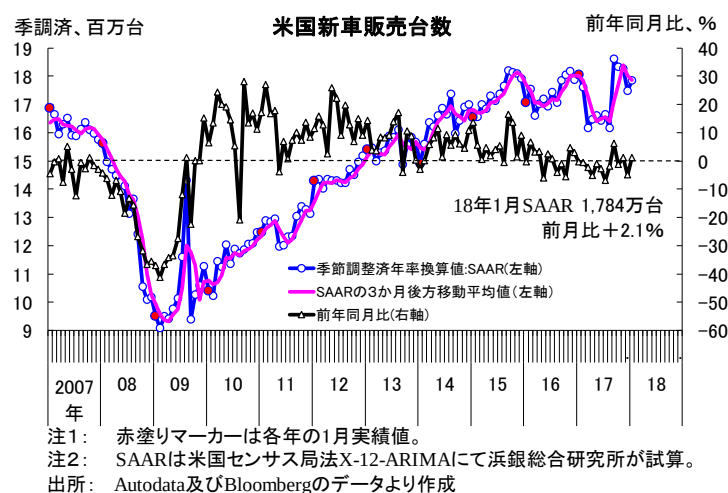
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。

出所: メキシコ自動車工業会(AMIA)のデータを基に作成

図表2 輸出台数 (SAAR) が失速



図表3 米国新車販売の下落基調が続く



図表4 国内新車販売は減少トレンド続く



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。